

学校給食(提供食)の放射性物質検査の結果について

検査方法

- ・学校給食で実際に児童生徒に提供した給食1食分を1週間ごとまとめて測定する。
- ・検体は毎日、小学校A1・中学校Aから採取を基本とする。

検査結果

<小学校>

提供期間(日数)	合計重量(kg)	検査日	検査値	
			放射性セシウム134	放射性セシウム137
令和元年5月7日～5月10日 (4日分)	2.56	5月10日	不検出 (<0.40)	不検出 (<0.64)

小学校A1 献立名

5月7日	こめ粉パン 牛乳 コーンスープ 白ごまフランクケチャップソースかけ 小松菜とツナのソテー
5月8日	ごはん 牛乳 ワンタンスープ トマトオムレツ 華風ひたし
5月9日	ソフトめん 牛乳 たんめん味 ちくわ磯辺天ぷら フルーツポンチ
5月10日	ごはん 牛乳 みそけんちん汁 さわら西京焼き ごぼうサラダ

<中学校>

提供期間(日数)	合計重量(kg)	検査日	検査値	
			放射性セシウム134	放射性セシウム137
令和元年5月7日～5月10日 (4日分)	2.43	5月10日	不検出 (<0.47)	不検出 (<0.76)

中学校A 献立名

5月7日	ソフトめん 牛乳 みそ味 あぶり焼きチキン ブロッコリー
5月8日	ごはん 牛乳 ビーフカレー えび入りパオズ 春雨サラダ
5月9日	ごはん 牛乳 牛肉とたけのこの煮物 白ごまあじフライ おかひじきのおひたし
5月10日	パン 牛乳 野菜スープ ささみチーズフライ マカロニナポリタン

- 1 検査結果の()内は検出下限値です。
- 2 「不検出」とは、放射性物質が検出下限値未満であることを示します。
- 3 「検出下限値」とは、検査機器で測定できる最小の値のことです。
なお、検出下限は検体の種類や重量などの影響をうけるため、測定ごとに異なります。
- 4 検査を依頼している機関は山形県理化学分析センターです。
- 5 ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法です。
- 6 食材内容については、「学校給食用食材の産地情報」で公開しています。

【参考】厚生労働省:24年4月からの放射性物質の新基準値 (単位 Bq/kg)

放射性セシウム	一般食品	100
	飲料水	10
	牛乳	50
	乳児用食品	50